

25～34歳の結婚についての意識と実態

- 男女交際・結婚に関する意識調査より -

株式会社明治安田生活福祉研究所（社長 木島 正博）は、2017年3月に、全国の15～34歳の男女10,304人を対象に、「男女交際・結婚に関する意識調査」を実施しました。

男女ともに平均初婚年齢が30歳前後（注）である今日、この年齢層の結婚と男女交際についての意識と実態に注目し、本リリースでは25歳～34歳のアラサー世代について調査で明らかになった最新の状況をご紹介します。

（注）平均初婚年齢：夫31.1歳・妻29.4歳（出典：厚生労働省「人口動態統計」）

＜ 主な内容 ＞

アラサー世代の男性・女性														
<p style="color: blue; font-weight: bold;">○結婚を意識した(させられた)交際経験はない未婚男女</p> <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">男性</td> <td style="padding: 5px; color: red; font-weight: bold;">6割</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">女性</td> <td style="padding: 5px; color: red; font-weight: bold;">4割</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">（4ページ）</p>	男性	6割	女性	4割	<p style="color: blue; font-weight: bold;">○未婚女性が、結婚を意識していた男性との交際を終わらせた理由</p> <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">「そもそも相性が合わないと思った」</td> <td style="padding: 5px; color: red; font-weight: bold;">23.9%</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">「結婚相手としてこの人で良いのか」</td> <td style="padding: 5px; color: red; font-weight: bold;">23.9%</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">（6ページ）</p>	「そもそも相性が合わないと思った」	23.9%	「結婚相手としてこの人で良いのか」	23.9%	<p style="color: blue; font-weight: bold;">○本命ではない異性との交友関係を維持(キープ)した既婚男女</p> <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">20代後半</td> <td style="padding: 5px; color: red; font-weight: bold;">5人に2人</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">30代前半</td> <td style="padding: 5px; color: red; font-weight: bold;">3人に1人</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">（11ページ）</p>	20代後半	5人に2人	30代前半	3人に1人
男性	6割													
女性	4割													
「そもそも相性が合わないと思った」	23.9%													
「結婚相手としてこの人で良いのか」	23.9%													
20代後半	5人に2人													
30代前半	3人に1人													
<p style="color: blue; font-weight: bold;">○結婚相手に400万円以上の年収を希望する未婚女性</p> <p style="font-size: small;">（女性の年収額別）</p> <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">200万円以上 300万円未満</td> <td style="padding: 5px; color: red; font-weight: bold;">56.5%</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">400万円以上 500万円未満</td> <td style="padding: 5px; color: red; font-weight: bold;">87.0%</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">（13ページ）</p>	200万円以上 300万円未満	56.5%	400万円以上 500万円未満	87.0%	<p style="color: blue; font-weight: bold;">○理想・条件を下げるくらいなら結婚したくない未婚男女</p> <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">男性</td> <td style="padding: 5px; color: red; font-weight: bold;">4人に1人</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">女性</td> <td style="padding: 5px; color: red; font-weight: bold;">5人に1人</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">（15ページ）</p>	男性	4人に1人	女性	5人に1人	<p style="color: blue; font-weight: bold;">○結婚後、共働きをしてもかまわない女性</p> <p style="font-size: small;">（結婚相手に希望する最低年収額が「400万円以上600万円未満」）</p> <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">既婚</td> <td style="padding: 5px; color: red; font-weight: bold;">85.6%</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">未婚</td> <td style="padding: 5px; color: red; font-weight: bold;">87.8%</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">（16ページ）</p>	既婚	85.6%	未婚	87.8%
200万円以上 300万円未満	56.5%													
400万円以上 500万円未満	87.0%													
男性	4人に1人													
女性	5人に1人													
既婚	85.6%													
未婚	87.8%													
<p>ご照会先</p>	<p> (株)明治安田生活福祉研究所 生活設計研究部 力石(カライシ)・上條(カミヅヨウ)・ 瀬在(セザイ)・木下川(キノカワリ) </p>	<p> 本調査内容の引用・転載をご希望の場合は、下記までご連絡いただきますようお願いいたします。 電話：03(6261)6414 FAX：03(3511)3200 Eメール：chikaraishi@myilw.co.jp </p>												

＜ 調査の概要 ＞

- (1) 調査対象： 全国の15～34歳の男女。
ただし、質問により対象の年齢層が異なる場合があります。
- (2) 調査方法： WEB アンケート調査（株式会社マクロミル登録モニター対象）
- (3) 調査時期： 2017年3月17日～3月21日
- (4) 回収数： 10,304人
- (5) サンプルの属性

		未婚者(注)			既婚者	計
		高校生	大学生等 (大学・大学院・短大・ 専門)	社会人	社会人	
15～19歳	男性	618	258	—	—	876
	女性	618	258	—	—	876
20～24歳	男性	—	927	567	—	1,494
	女性	—	927	567	—	1,494
25～29歳	男性	—	—	824	567	1,391
	女性	—	—	824	567	1,391
30～34歳	男性	—	—	824	567	1,391
	女性	—	—	824	567	1,391
計		1,236	2,370	4,430	2,268	10,304

(注) 本調査における「未婚者」は結婚経験がない人を指します。

(6) サンプル数について

この調査では、上記の属性ごとに相当数のサンプルを収集して分析を行なうことを目的としています。そのため、当資料では人口比などによる補正は行なっておりません。

<目 次>

1. 結婚を意識した（させられた）交際経験..... 4 ページ
 - ◎未婚アラサーの男性 6 割・女性 4 割は結婚を意識した交際経験がない
 - ◎交際を断った未婚アラサー女性の 4 人に 1 人が「この人で良いのか」
2. 未婚アラサー女性の結婚相手の見極め方..... 8 ページ
 - ◎結婚を意識した未婚アラサー女性の 4 割が、自分からプロポーズまたは結婚意思を確認
 - ◎未婚アラサー女性は結婚するか・しないかはっきりしない相手とは別れる
 - ◎結婚するつもりがない男性からプロポーズされても、7～8 割が交際継続
3. 本命ではない異性との交友関係.....11 ページ
 - ◎本命ではない異性との交友関係を維持（キープ）した既婚男女は、20 代後半の 5 人に 2 人・30 代前半の 3 人に 1 人
 - ◎キープした相手との結婚はアラサーの男女ともに 2 割
4. 結婚への理想と現実.....13 ページ
 - ◎結婚相手に 400 万円以上の年収を希望する割合
 - 本人の年収が 200 万円以上 300 万円未満の未婚アラサー女性は、56.5%
 - 本人の年収が 400 万円以上 500 万円未満の未婚アラサー女性は、87.0%
 - ◎結婚相手に最低 800 万円以上の年収を希望する未婚アラサー女性の 3 人に 1 人は、800 万円を下回る男性とは結婚しない
 - ◎「理想・条件を下げるくらいなら結婚したくない」未婚アラサーは男性 4 人に 1 人・女性 5 人に 1 人
5. 共働きへの意識.....16 ページ
 - ◎共働きをしてもかまわないアラサー女性は 9 割
 - ◎未婚アラサー男性の 8 割が共働きを期待

1. 結婚を意識した（させられた）交際経験

◎未婚アラサー（注）の男性6割・女性4割は結婚を意識した交際経験がない

◎交際を断った未婚アラサー（注）女性の4人に1人が「この人で良いのか」

（注）本リリースでは「アラサー」は「20代後半」および「30代前半」を指します。

➤ 未婚アラサーの男性6割・女性4割は結婚を意識した交際経験がない

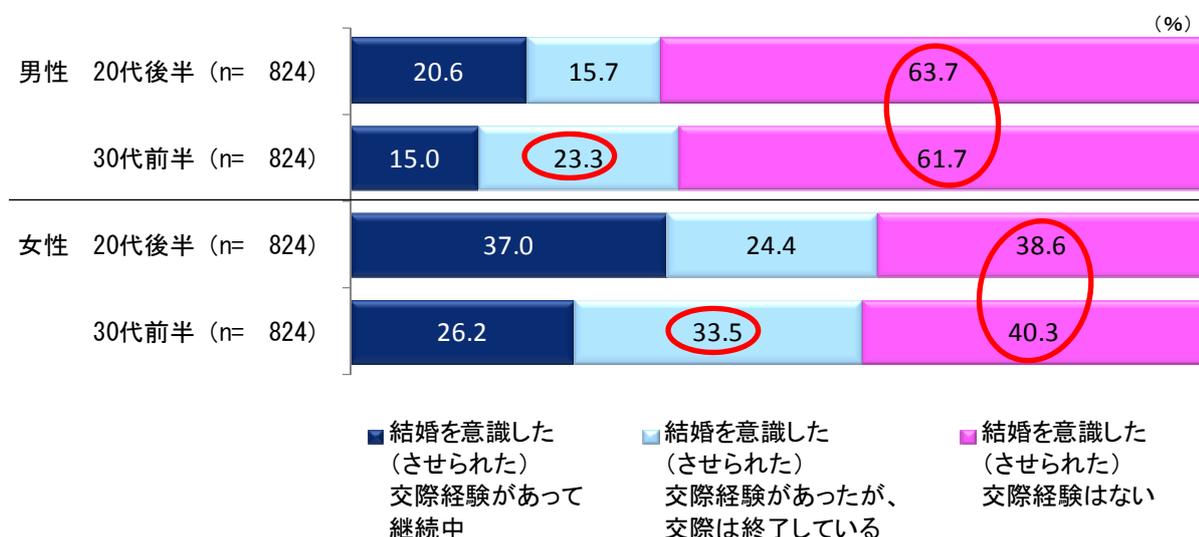
25～34歳の未婚者に対して、結婚を意識した（させられた）交際経験があるかどうかをたずねたところ、「結婚を意識した（させられた）交際経験はない」は、男性約6割（20代後半63.7%・30代前半61.7%）・女性約4割（20代後半38.6%・30代前半40.3%）でした。

また、「結婚を意識した（させられた）交際経験があったが、交際は終了している」は、30代前半の男性23.3%・女性33.5%と、男女ともに20代後半に比べて高くなっています（図表1）。

なお、結婚の意識の有無にかかわらず、交際経験自体がない人に対して、交際経験がない理由をたずねたところ（注）、男性および20代後半女性では「どのように男女交際すればよいかよくわからない」が最も高くなっています。30代前半女性では「これまでに交際したいと思う人に会わなかった」が最も高くなっています（図表2）。

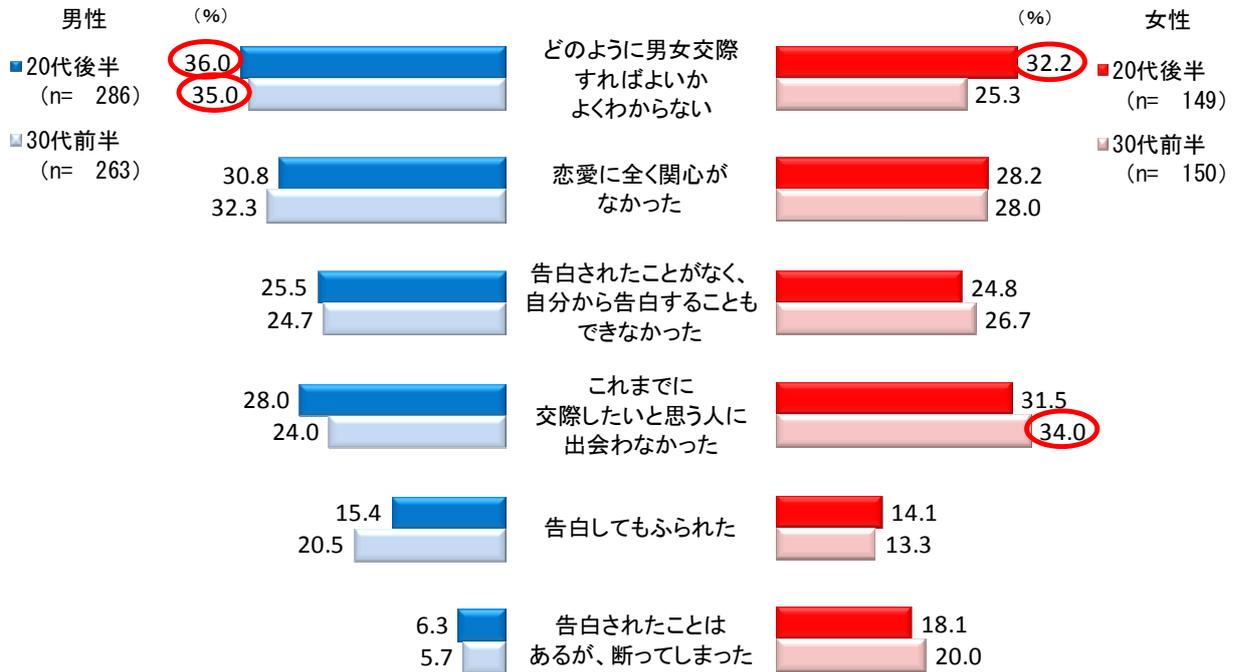
（注）「交際経験はあるが結婚を意識しない」ケースを除きます。

図表1 結婚を意識した（させられた）交際経験の有無（25～34歳の未婚者）



図表2 結婚の意識の有無にかかわらず交際経験がない理由

(交際未経験である25～34歳の未婚者：複数回答)



➤ 未婚アラサー女性が結婚を意識していた交際を自分から終わらせた理由

「そもそも相性が合わないと思った」23.9%・「結婚相手としてこの人で良いのか」23.9%

結婚を意識した（させられた）交際経験はあるものの今では交際が終了している25～34歳の未婚者に対して、自分と相手のどちらから交際を終わらせたのかをたずねたところ、「こちらから交際を断った」は女性が48.2%で、男性の33.0%より15.2ポイント高くなりました（図表3）。

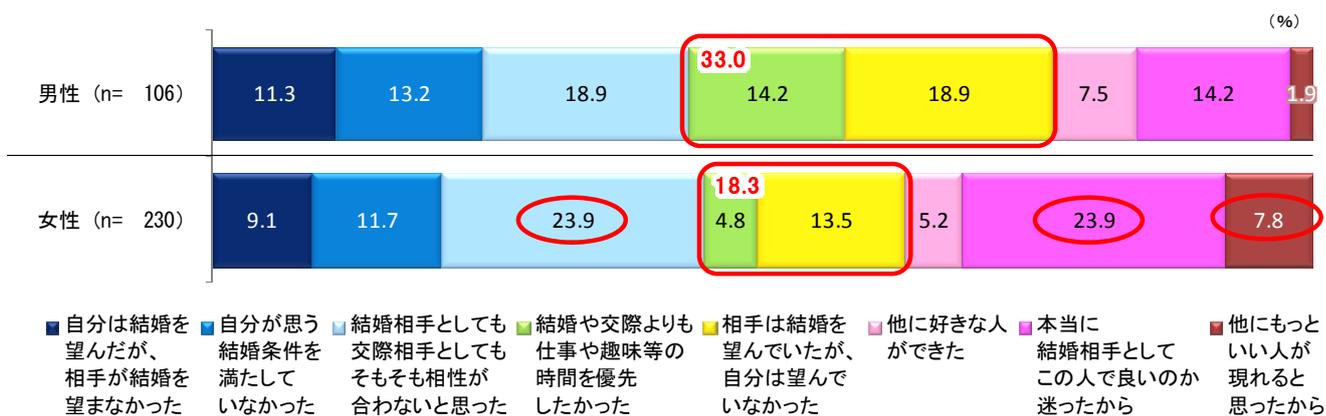
次に、「こちらから交際を断った」25～34歳の未婚者に対して、結婚を意識した（させられていた）のになぜ自分から交際を断ったのかをたずねたところ、相性や結婚条件は別として、現時点では自分から積極的に結婚を望んでいない場合（「結婚や交際よりも仕事や趣味等の時間を優先したかった」＋「相手は結婚を望んでいたが、自分は望んでいなかった」）が男性は33.0%で女性の18.3%より14.7ポイント高くなりました。

一方、女性では「結婚相手としても交際相手としてもそもそも相性が合わないと思った」「本当に結婚相手としてこの人で良いのか迷ったから」「他にもっといい人が現れると思ったから」がそれぞれ男性に比べて高くなっています（図表4）。

図表3 結婚を意識した（させられた）交際を終わらせたのは自分からか、相手からか
（25～34歳の未婚者）



図表4 結婚を意識した（させられた）交際を自分から断った理由（25～34歳の未婚者）



2. 未婚アラサー女性の結婚相手の見極め方

◎結婚を意識した未婚アラサー（注）女性の4割が、自分からプロポーズまたは結婚意思を確認

◎未婚アラサー（注）女性は結婚するか・しないかはっきりしない相手とは別れる

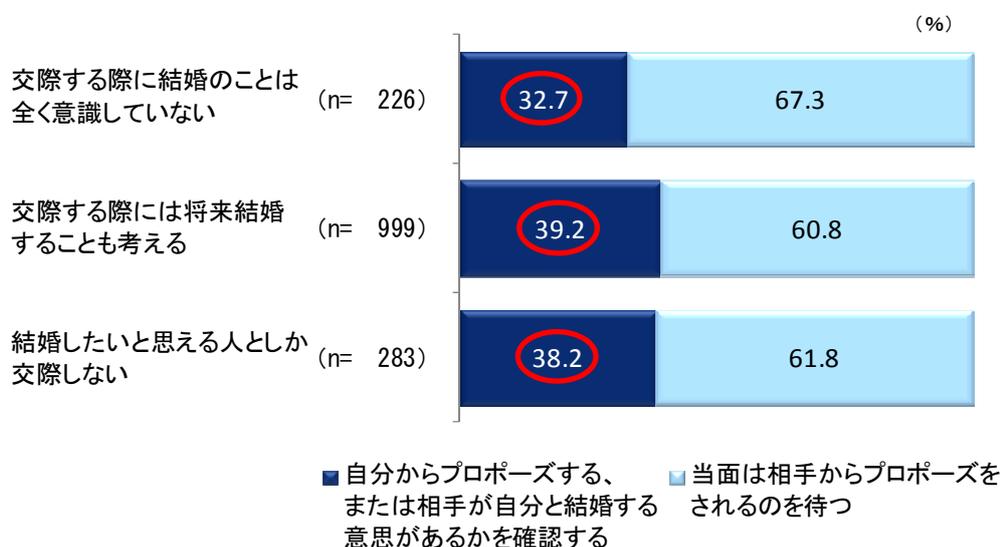
◎結婚するつもりがない男性からプロポーズされても、7～8割が交際継続

（注）本リリースでは「アラサー」は「20代後半」および「30代前半」を指します。

➤ 結婚を意識した未婚アラサー女性の4割が、自分からプロポーズまたは結婚意思を確認

25～34歳の未婚女性に対して、結婚したいと思っている交際中の男性がいると想定してもらい、その男性がなかなかプロポーズしてくれない場合にどうするかをたずねました。結婚への意識が高い「交際する際には将来結婚することも考える」「結婚したいと思える人としてしか交際しない」女性は約4割、また、「交際する際に結婚のことは全く意識していない」女性でも約3割が「自分からプロポーズする、または相手が自分と結婚する意思があるかを確認する」と回答しています（図表5）。

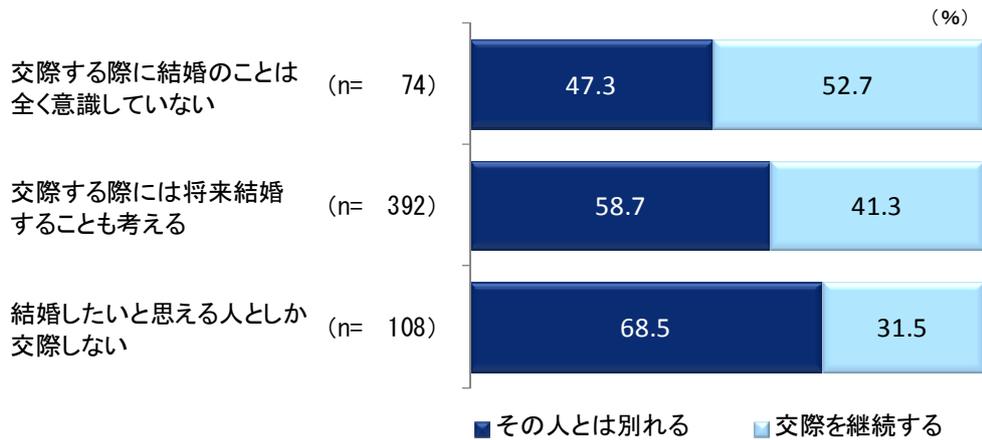
図表5 交際相手の男性がなかなかプロポーズをしてくれない場合にどうするか
（25～34歳の未婚女性：交際と結婚の関係についての意識別）



➤ **未婚アラサー女性は結婚するか・しないかはっきりしない相手とは別れる**

25～34歳の未婚女性に対して、自分と結婚する意思があるか交際相手に確認したけれども態度が煮え切らない場合に、別れるかどうかをたずねました。結婚への意識が高い「結婚したいと思える人としてしか交際しない」女性の68.5%・「交際する際には将来結婚することも考える」女性の58.7%が「その人とは別れる」と回答しています（図表6）。

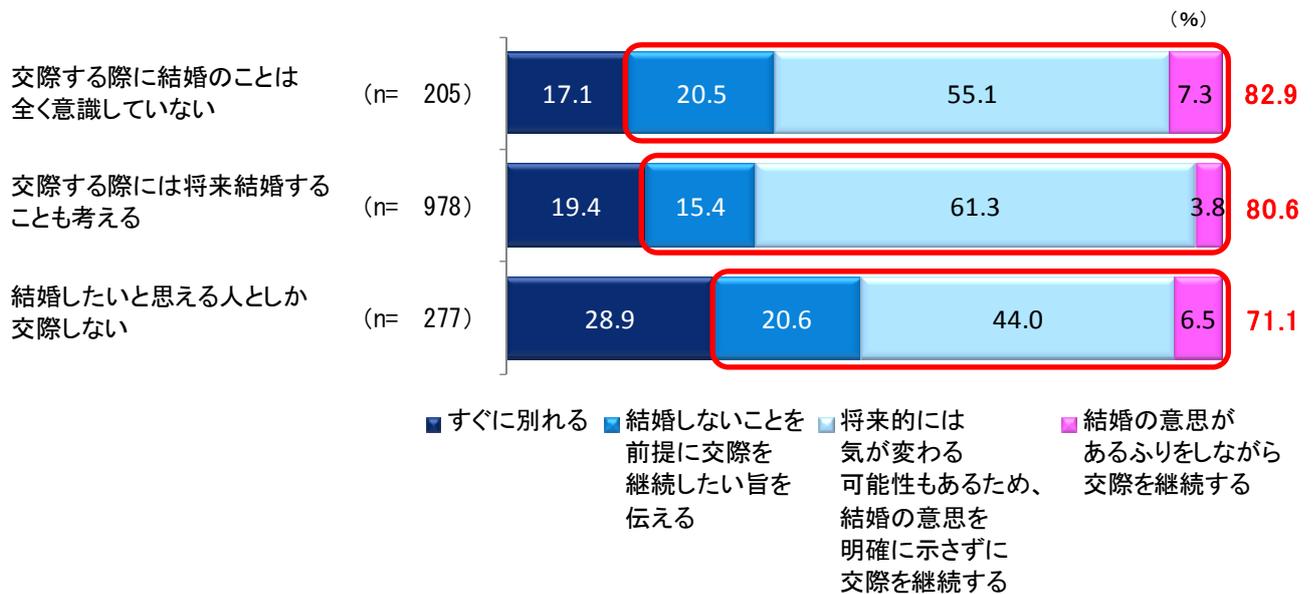
図表6 結婚するか・しないかはっきりしない男性とは別れるか
(25～34歳の未婚女性：交際と結婚の関係についての意識別)



➤ **結婚するつもりがない男性からプロポーズされても、交際継続が主流**

25～34歳の未婚女性に対して、結婚するつもりがない交際中の男性からプロポーズされた場合にどうするかをたずねたところ、約7～8割は交際を継続する意向でした。また、「将来的には気が変わる可能性もあるため、結婚の意思を明確に示さずに交際を継続する」が「結婚したいと思える人としてしか交際しない」女性でも44.0%、それ以外の女性では約6割（「交際する際に結婚のことは全く意識していない」55.1%・「交際する際には将来結婚することも考える」61.3%）とそれぞれ最も高くなっています（図表7）。

図表7 自分は結婚するつもりがないのにプロポーズされた場合
（25～34歳の未婚女性：交際と結婚の関係についての意識別）



3. 本命ではない異性との交友関係

◎本命ではない異性との交友関係を維持（キープ）した既婚男女は、20代後半の5人に2人・30代前半の3人に1人

◎キープした相手との結婚はアラサー（注）の男女ともに2割

（注）本リリースでは「アラサー」は「20代後半」および「30代前半」を指します。

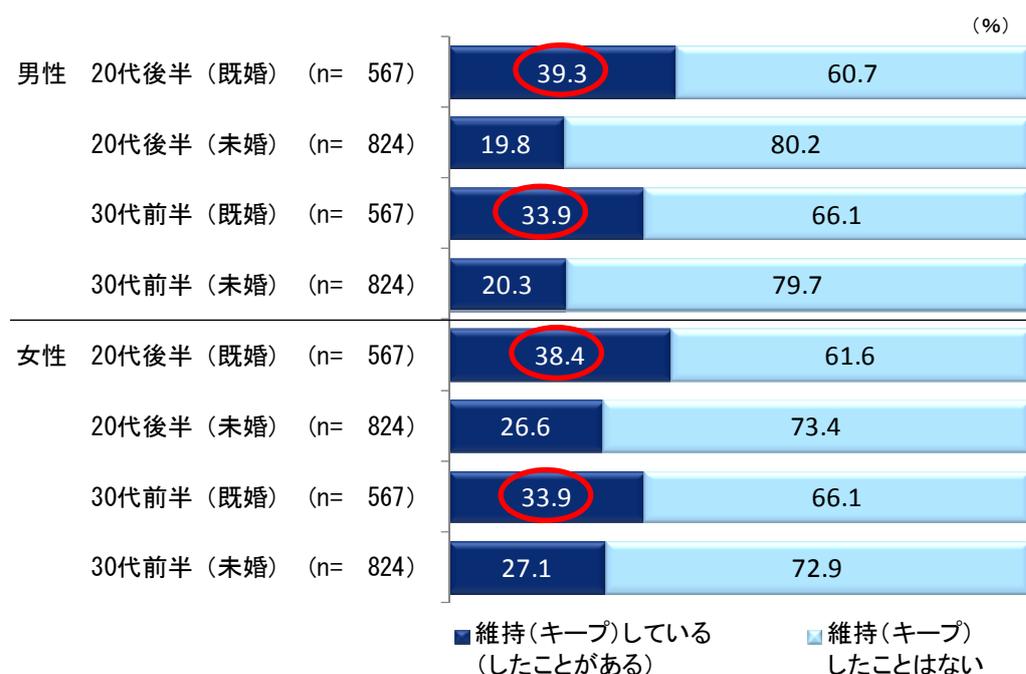
➤ 結婚に至る交際の中で既婚者は未婚者に比べて本命ではない異性との交友関係を維持（キープ）することが多かった

25～34歳の男女に対して、結婚相手として本命ではない異性との交友関係を維持（キープ）している、またはしたことがあるかをたずねたところ（既婚者は結婚前のことについて回答）、本命ではない異性との交友関係を「維持（キープ）している（したことがある）」割合は未婚者より既婚者のほうが高くなりました。

既婚者については、男女ともに20代後半は約5人に2人（男性39.3%・女性38.4%）、30代前半は約3人に1人（男性33.9%・女性33.9%）が本命ではない異性との交友関係を「維持（キープ）したことがある」と回答しており、同じ既婚者でも20代後半のほうが30代前半より割合が高くなっています。

同じように未婚者についてみると、男性は約5人に1人（20代後半19.8%・30代前半20.3%）、女性は約4人に1人（20代後半26.6%・30代前半27.1%）が本命ではない異性との交友関係を「維持（キープ）している（したことがある）」と回答しています。未婚者の場合、女性のほうが男性より割合が高くなっています（図表8）。

図表8 本命ではない異性との交友関係維持（キープ）の有無（25～34歳：未既婚別）



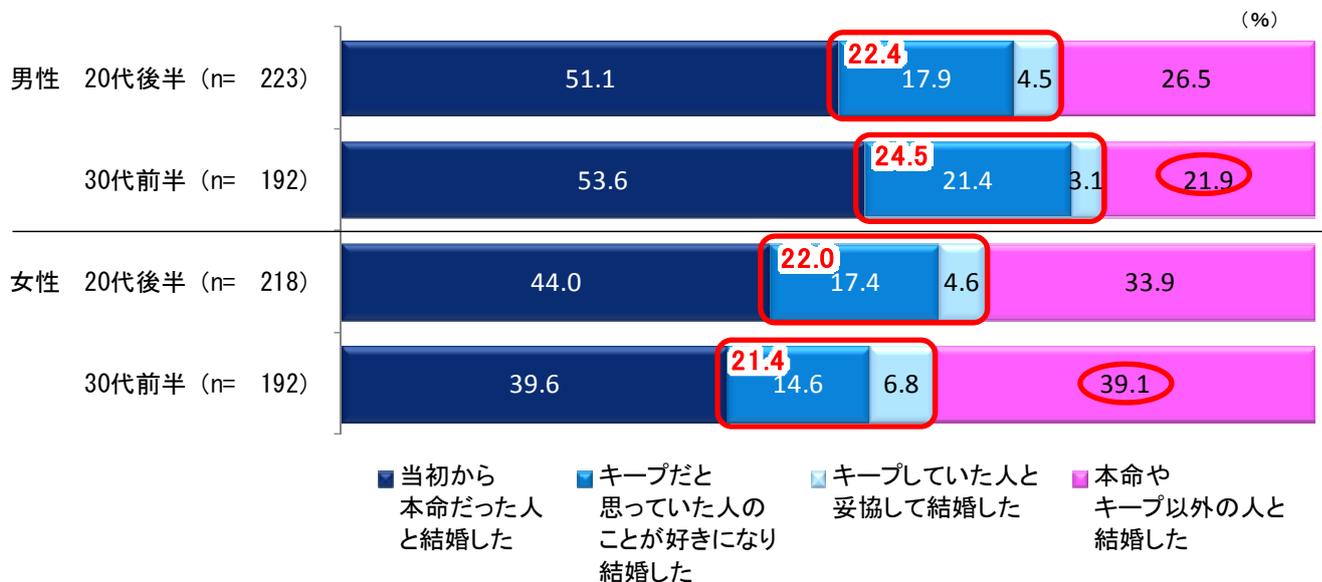
➤ **キープした相手との結婚はアラサーの男女ともに2割**

本命ではない異性と交友関係を維持(キープ)したことがある25~34歳の既婚者に対して、誰と結婚したかをたずねたところ、キープしていた人との結婚(「キープだと思っていた人のことが好きになり結婚した」+「キープしていた人と妥協して結婚した」)は男女ともに約2割(男性の20代後半22.4%・30代前半24.5%、女性の20代後半22.0%・30代前半21.4%)でした。

男女ともに「当初から本命だった人と結婚した」割合が最も高く、男性は約5割、女性は約4割と男性のほうが高くなっています。

「本命やキープ以外の人と結婚した」割合は、30代前半女性では同世代の男性に比べて高くなっており(男性21.9%・女性39.1%)、「当初から本命だった人と結婚した」39.6%と同水準となっています(図表9)。

図表9 本命ではない異性と交友関係を維持(キープ)したことがある人の結婚相手
(本命ではない異性と交遊関係を維持(キープ)したことがある25~34歳の既婚者)



4. 結婚への理想と現実

◎結婚相手に400万円以上の年収を希望する割合

本人の年収が200万円以上300万円未満の未婚アラサー（注）女性は、56.5%

本人の年収が400万円以上500万円未満の未婚アラサー（注）女性は、87.0%

◎結婚相手に最低800万円以上の年収を希望する未婚アラサー（注）女性の3人に1人は、800万円を下回る男性とは結婚しない

◎「理想・条件を下げるくらいなら結婚したくない」未婚アラサー（注）は男性4人に1人・女性5人に1人

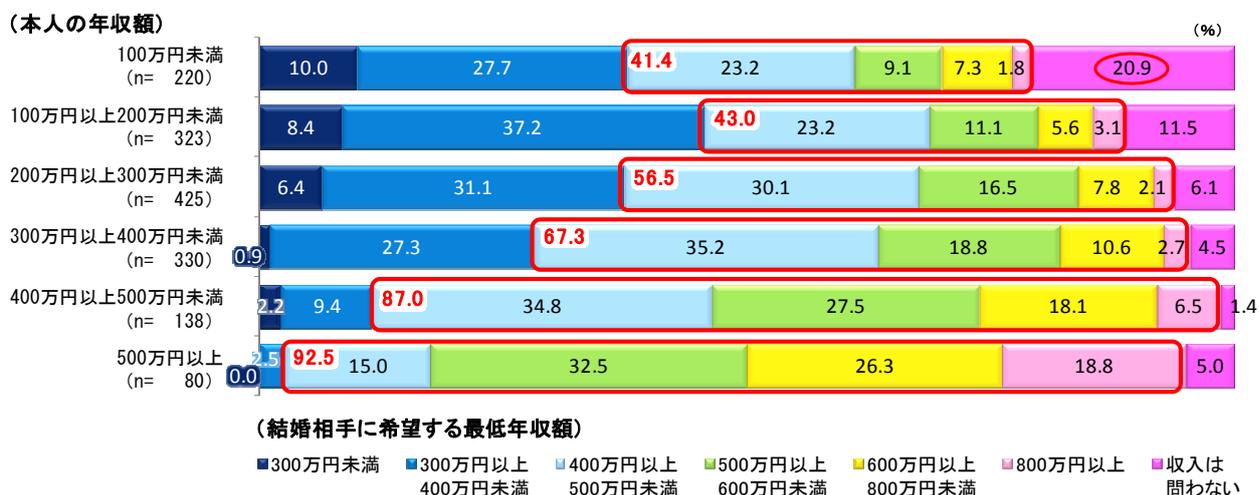
（注）本リリースでは「アラサー」は「20代後半」および「30代前半」を指します。

➤ 高年収の未婚アラサー女性は結婚相手に希望する最低年収額も高くなる

25～34歳の未婚女性に対して、結婚相手に希望する最低年収額をたずねたところ、本人の年収が高いほど相手に求める年収額も高くなりました。例えば、相手に400万円以上の年収額を希望する割合は、年収200万円以上300万円未満の女性の56.5%・年収400万円以上500万円未満の女性の87.0%となっています。

一方、本人の年収が100万円未満の未婚女性の約2割は、結婚相手に「収入は問わない」と回答しています（図表10）。

図表10 結婚相手に希望する最低年収額（25～34歳の未婚女性：本人の年収額別）

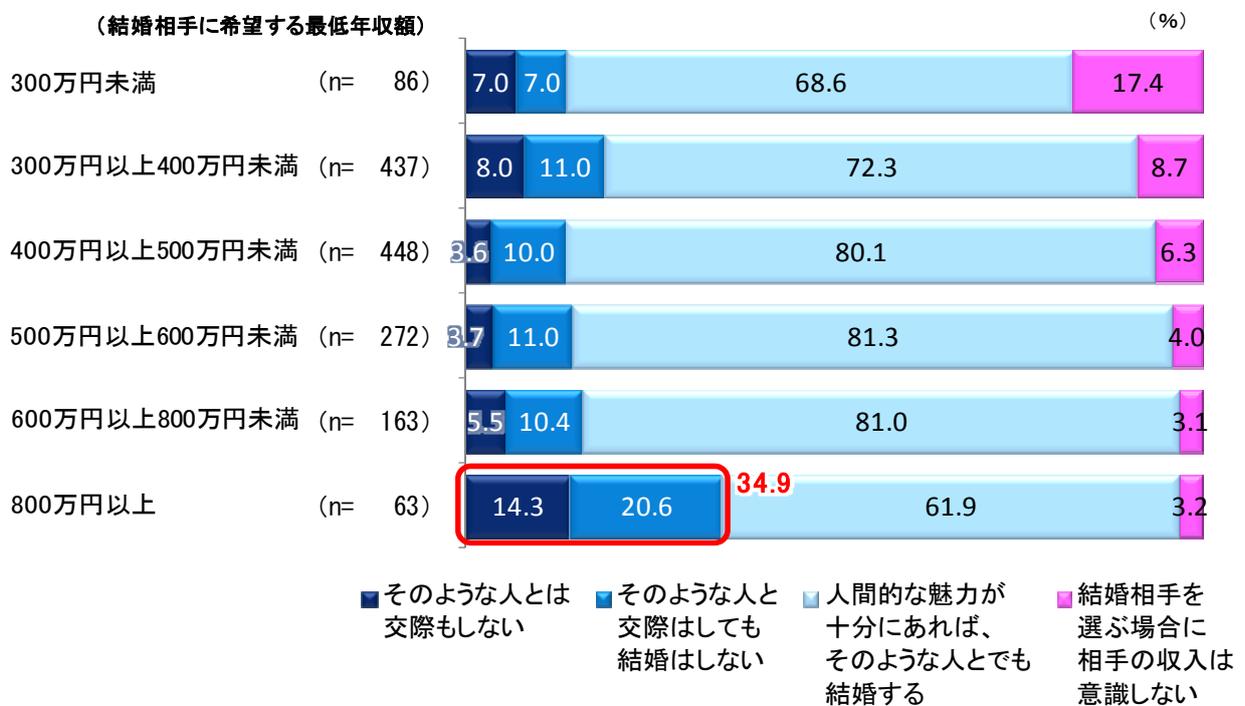


➤ **結婚相手に最低 800 万円以上の年収を希望する未婚アラサー女性の 3 人に 1 人は、800 万円を下回る男性とは結婚しない**

25～34 歳の未婚女性に対して、自分が結婚相手に希望する最低年収額を下回る男性との結婚についてどう考えているかをたずねたところ、結婚相手に 800 万円未満の年収を希望する女性の約 1～2 割は、その男性とは結婚しない（「そのような人とは交際もしない」＋「そのような人と交際はしても結婚はしない」）意向でした。

一方、結婚相手に 800 万円以上の年収を希望する女性の約 3 人に 1 人（34.9%）がその男性とは結婚しないと考えているようです（図表 11）。

図表 11 結婚相手に希望する最低年収額を下回る男性との結婚に対する気持ち
（25～34 歳の未婚女性：結婚相手に希望する最低年収額別）



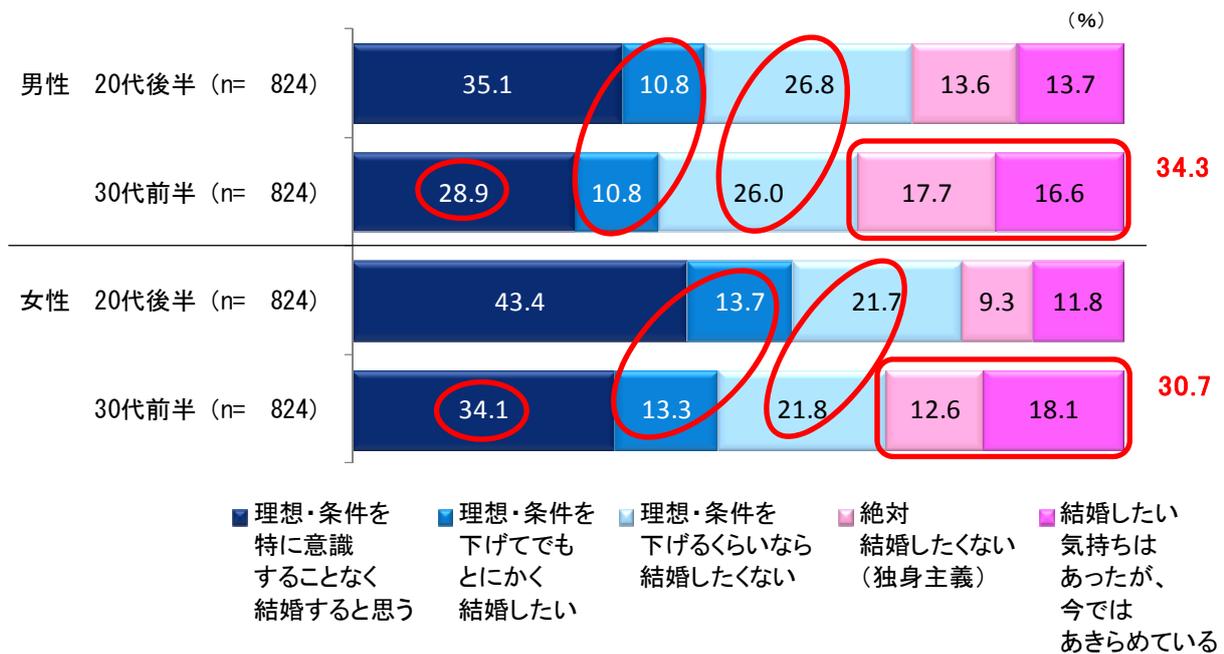
➤ 「理想・条件を下げるくらいなら結婚したくない」未婚アラサーは男性4人に1人・女性5人に1人

25～34歳の未婚者に対して、理想・条件と結婚に対する気持ちをたずねました。「理想・条件を特に意識することなく結婚すると思う」は30代前半で男性28.9%・女性34.1%で、男女ともに年齢層が上がると割合自体は低くなりますが、20代後半・30代前半ともに最も高い割合を占めています。

また、「絶対結婚したくない（独身主義）」「結婚したい気持ちはあったが、今ではあきらめている」は年齢層が上がると割合も高くなり、合計すると30代前半では約3人に1人が現在結婚を考えていないことになります（男性34.3%・女性30.7%）。

「理想・条件を下げるくらいなら結婚したくない」は、男性は約4人に1人（20代後半26.8%・30代前半26.0%）、女性は約5人に1人（20代後半21.7%・30代前半21.8%）となっています。一方、「理想・条件を下げてもとにかく結婚したい」は男女ともに約1割でした（男性の20代後半10.8%・30代前半10.8%、女性の20代後半13.7%・30代前半13.3%）（図表12）。

図表12 結婚に対する気持ち（25～34歳の未婚者）



5. 共働きへの意識

◎共働きをしてもかまわないアラサー（注）女性は9割

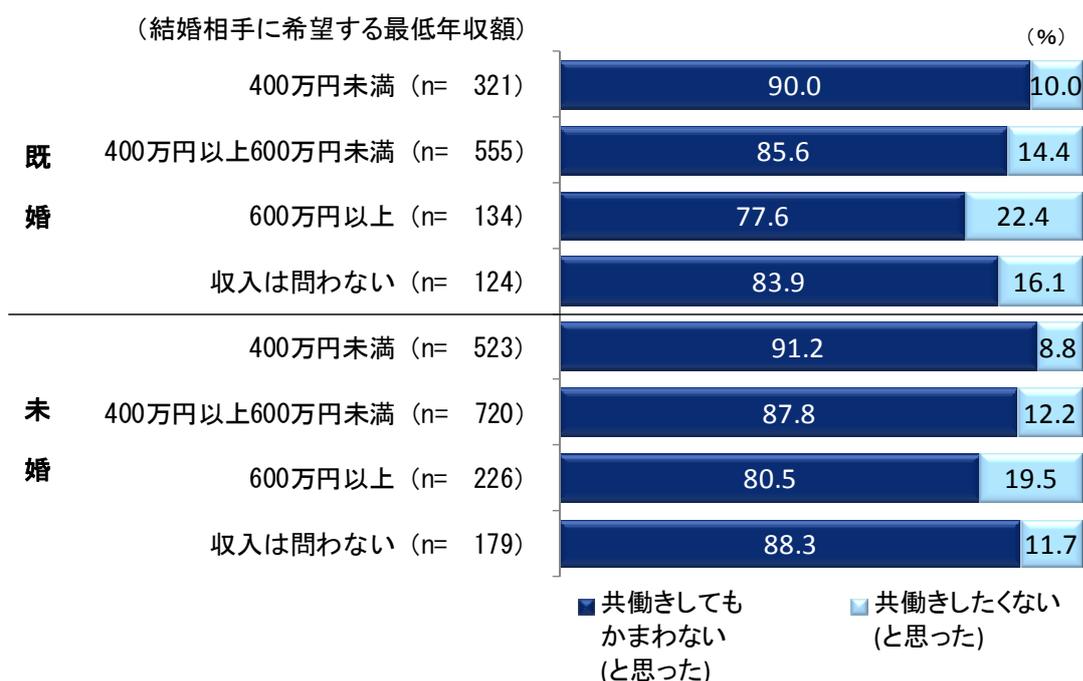
◎未婚アラサー（注）男性の8割が共働きを期待

（注）本リリースでは「アラサー」は「20代後半」および「30代前半」を指します。

➤ 共働きをしてもかまわないアラサー女性9割

25～34歳の女性に対して、結婚相手の収入が希望する水準以下の場合に共働きをするつもりがあるかをたずねたところ（既婚者は結婚する際の意識について回答）、収入が希望する水準以下の場合、共働きをしてもかまわないとする割合は約8～9割と高く、女性の就労意識が高いことがうかがえます。また、結婚相手に希望する最低年収額が高いほど、「共働きしたくない（と思った）」割合が高くなっています。なお、共働きへの意欲は未婚女性と既婚女性ではほぼ同水準となっています（図表13）。

図表13 結婚相手の収入が希望する水準以下の場合、共働きをするつもりがあるか（25～34歳の女性：結婚相手に希望する最低年収額別）



➤ **未婚アラサー男性の8割が共働きを期待**

25～34歳の男性に対して、結婚後の世帯収入を支えるために結婚相手にも共働きを期待するか（したか）をたずねたところ（既婚者は結婚する際の意識について回答）、「共働きを期待する（した）」は、未婚男性で約8割となりました。一方、既婚男性をみると年収「400万円未満」の85.0%、「400万円以上」では74.6%が「共働きを期待する（した）」と回答しており、現在の年収が高い男性は、結婚当時に結婚相手に共働きしてもらわなくても経済的には問題ないと判断した人が相対的に多いことがうかがえます（図表14）。

図表14 結婚相手に共働きを期待するか（したか）（25～34歳の男性：現在の本人の年収額別）

